



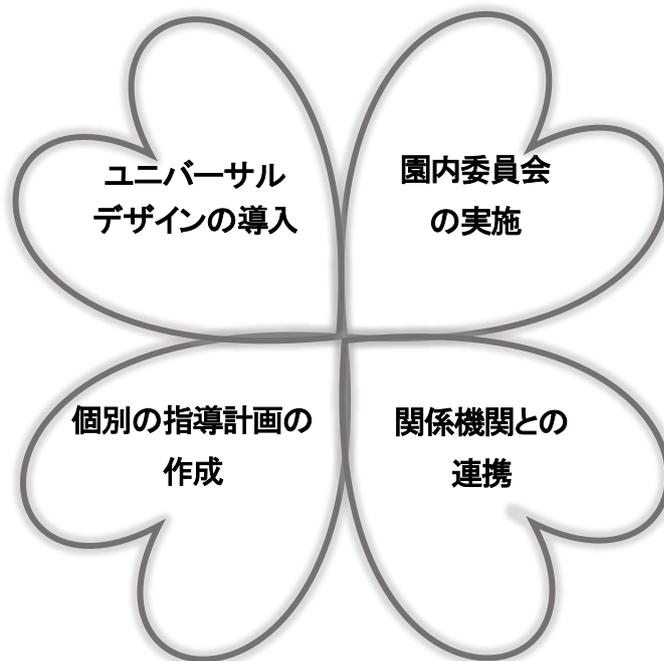
令和6年6月号
杉並区立堀ノ内子供園
園長 高橋 章子

「みんなちがって、みんないい」子供園

特別支援教育コーディネーター 日下部 美紗

新年度が始まり、2ヶ月が経ちました。はじめは子どもたちの表情に緊張や不安も見られましたが、最近では園庭や保育室に楽しそうな声が響いています。私たちは、子どもたちが安心して過ごし、楽しく遊べるように、どの子にとっても分かりやすい環境づくりを工夫しています。

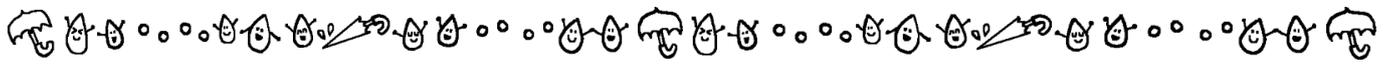
子供園では、子どもたちが、自分に自信をもち、いきいきと遊べるように、「すべての子どもにとって分かりやすい子供園」を目指して、以下の4つの特別支援教育の取り組みを行っています。(詳細は別紙差し込み)



杉並区の教育の基本的な考え方を示した 杉並教育ビジョン 2022 には、「わたしたちが大切にしたい教育」として『みんなのしあわせを創る杉並の教育』が掲げられています。誰もが自分らしく生きることを大切にしながら「みんなのしあわせを創る」ためには、自分のよさに自信をもった上で、まわりの人のよさにも気づき、ともに認め合い、協力し合う姿勢を支える教育が大切です。

時期や子どもたちの育ちに合わせた積み重ねの中で、自分や友達のことを「みんなちがって、みんないいね」と思える楽しい子供園となるよう、上に示した4つの取り組みを通して、職員全員で考え、連携し、保育を進めています。





堀ノ内子供園 特別支援教育の4つの取り組み

杉並区教育委員会の作成する「特別支援教育推進計画」に基づき、本園では、次の 4 つの取り組みを行っています。

ユニバーサルデザインの導入 ～「誰にとっても分かりやすい」環境づくり～

身支度の手順や物の置き場所を絵で示したり、1日の生活の見通しを表示したり、子どもたちの育ちに合わせて、「誰にとっても分かりやすい」環境づくりを工夫しています。伝えたい内容が同じでも、学年や子どもたちの育ちに合わせて、例えば、絵の大きさや文字の有無などを変えています。

個別指導計画の作成 ～一人ひとりに合った「明日も行きたい子供園」～

特別な支援が必要な幼児について、担任が個別指導計画を作成しています。介助員が配置されている幼児には、必ず作成します。

この計画をもとに、一人ひとりの体や心の育ちに合った、園生活の楽しみ方や、伝えたい内容の知らせ方の工夫、学級の中での育ち合いについて考えています。

園内委員会の実施 ～園児の育ちを支える「チーム堀ノ内」～

特別支援教育コーディネーターの進行のもと、園内委員会を実施しています。子どもたちの育ちや、それを支える手立て、今後の遊びの計画などについて、学級担任が考えていることを、職員全体で共有しています。

また、担任以外も意見を出し合うことで、子どもの育ちや、それに合った支援や今後の遊びの計画について、多面的に考えることを大切にしています。担任を中心として、「チーム堀ノ内」で子どもたちの育ちを支えます。

関係機関との連携 ～いろいろな視点から子どもの育ちを見つめる～

就学前教育支援センター所属の心理士が年に4回園を訪問します。園内の環境や子どもたちの過ごしている様子を見てもらった後、子供園職員との協議を通して、心理学の専門的な視点と、担任を含めた職員の視点の両方から、子どもたちにとって、より分かりやすい園生活について考え合います。

そして、保護者の方と、お子さんについてたくさんお話することも、大切な連携です。

気になっていることは、どんなささいなことでも、担任、園長、主任、特別支援教育コーディネーターに、いつでもご相談ください。(楽しい話も大歓迎です♪)



6月の予定

◆：※午前保育の日です。③：うさぎ組 ④：ぱんだ組 ⑤：きりん組

日	曜	行 事 予 定	7月の行事予定		
			日	曜	内 容
1	土		1	月	安全指導
2	日		2	火	避難訓練
3	月	安全指導 体重測定 (全学年)	3	水	⑤個人面談始 アイアイ
4	火	避難訓練	4	木	体重測定
5	水	ごっこ活動 ①	5	金	七夕の会
6	木	歯科検診 ②	6	土	
7	金		7	日	七夕
8	土	親子運動遊び (任意参加・お知らせ済)	8	月	
9	日		9	火	カレーパーティ
10	月	きりん組 自転車ゲーム (交通安全指導)	10	水	◆：研究会参加のため
11	火	運動遊び アイアイ	11	木	
12	水	◆：研究会参加のため	12	金	④⑤誕生会
13	木	口腔保健指導 ③	13	土	
14	金	自転車ゲーム予備日	14	日	
15	土		15	月	海の日
16	日		16	火	
17	月		17	水	※弁当終 ⑤保護者会
18	火	交通安全指導 (高井戸警察の指導) ④	18	木	◆：研究会参加のため ④保護者会
19	水	◆：研究会参加のため	19	金	◆：終業式 ③保護者会
20	木	プール指導始まり ⑤	20	土	夏季休業日始
21	金		21	日	
22	土		22	月	夏季保育
23	日		23	火	
24	月		24	水	
25	火		25	木	
26	水	アイアイ	26	金	
27	木	ぱんだ組・きりん組 誕生会	27	土	
28	金		28	日	
29	土		29	月	
30	日		30	火	
			31	水	



今月の指導・

うさぎ組

ばんだ組からもらったウレタン積み木や、学級にあるゴザ等を使って遊ぶことが楽しくなってきたうさぎ組。積み木を組み合わせて「これロケットだよ。」「これは四角と三角でおうちの形。」とできた形を何かに見立てたり、その近くにゴザを敷き、積み木を机に見立てて「ここは私のお家なの。」と場所を作ったりしています。おうちごっこやドーナツ屋さんに必要な場所があることで、お店屋さんやお客さん、お母さんやお父さん、子ども役になりきることがさらに楽しくなっています。

また園庭ではドロドロやふわふわの砂の感触を楽しんだり、築山を駆け抜けたりと園にある自然や遊具・用具を使って遊ぶ面白さを味わったりしています。

今月は、次のことを重点に指導していきます。

- 保育者と一緒に身の回りのことを自分でしようとする。
- 好きなことや自分のしたいことを見つけて遊ぶ。

梅雨の季節が近づいてきています。日差しが強い日や汗ばむ日には着替えをし、清潔な衣服の心地よさを味わえるようにしていきます。着替えた衣服を持ち帰った際には、同じ種類・数の新しい衣服を手提げ袋（ビニール袋やエコバック等）に入れ、お持ちください。

ばんだ組

保育者や友達と同じ場所で同じものを身に付けて遊んだり、自分が作ったものを使って遊んだりすることを楽しんでいます。空き箱製作では、電車やカメラ、スマートフォン、リモコンなど生活に馴染みのあるものを作って遊びに取り入れています。

また、5月上旬から中型積み木を使い始めました。ウレタン積み木よりも重い中型積み木をたくさん運び、積んだり、繋げたりして何かに見立てることを楽しんでいます。お化け屋敷やお店屋さんなどの場を作ったり、街を作って電車を走らせたり、どんどんと遊びが広がっていく様子が見られます。

今月は、次のことを重点に指導していきます。

- 保育者や気の合う友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じる。
- 自分の思いを言葉や動きで表して遊ぶ楽しさを味わう。
- みんなで体を動かす楽しさや心地よさを味わう。

今月から水遊びが始まります。水の感触を楽しんだり、解放感を味わったりして、水遊びを楽しむようにしていきます。食事や睡眠をしっかりととり、体調管理をしてください。また、気温が上がり汗をたくさんかきますので、半袖半ズボンで元気いっぱい遊べるようにご協力お願いします。

きりん組

きりん組になって新しく使えるようになった大型積み木やキングブロック。大きな場所や動く乗り物が作れる面白さを感じて遊ぶことを楽しんでいます。友達との遊びでは思いが同じになると遊びが楽しくなっていくことを感じ始めています。友達と同じ思いで遊びを楽しむ姿が増えています。

また、井の頭自然文化園へ遠足に行ったことをきっかけに、「きりん組みんなで井の頭公園を作ろう！」と学級で決めました（ごっこ活動）。2～3人の友達と力を合わせて乗り物や動物園、食べ物屋さんを作り、再現して遊ぶことを楽しんでいます。

今月は、次のことを重点に指導していきます。

- 自分の遊びを「こうしたい」という思いや願いをもち、実現していこうとする。
- 自分の考えを友達に伝えたり友達の話の聞いたりしながら、一緒に遊びを進めていこうとする。

年長に進級し2か月が経ちました。ごっこ活動も始まり友達と力を合わせることも増えています。楽しい日々ですが、疲れも見えています。ご家庭ではゆったりとお子さんの気持ちを受け止めてください。